

第32回 広島県小学生総合体育大会（陸上競技の部）要項

- 1 主 旨 本大会は、広島県小学生のスポーツ活動を振興し、児童の体力向上を図り、スポーツ精神を涵養するものである。
- 2 主 催 広島陸上競技協会 広島県小学生体育連盟
- 3 後 援 広島県教育委員会 広島県体育協会 広島県教育事業団 久保スポーツ振興基金
東広島市教育委員会
- 4 主 管 東広島市陸上競技協会
- 5 期 日 令和2年11月1日（日）受付8：00 開会式9：00
- 6 会 場 東広島運動公園陸上競技場
（東広島市西条町田口67-1 TEL 082-425-2525）
- 7 種 目 男子の部（7種目） 女子の部（7種目）
〔6年生〕100m 走幅跳 〔6年生〕100m 走幅跳
〔5年生〕100m 走幅跳 〔5年生〕100m 走幅跳
〔共通〕800m 80mH 4×100mR 〔共通〕800m 80mH 4×100mR
- 8 参加資格 県内の小学校に在籍する5・6年生とする。小学生登録の有無は問わない。
- 9 参加制限 (1) 一人の出場種目は1種目（リレーを除く）とする。
(2) 各団体からの種目ごとの出場枠は次の通りとする。

区分 性別	5年生		6年生		共通		
	100m	走幅跳	100m	走幅跳	800m	80mH	4×100mR
男子	4名以内	3名以内	4名以内	3名以内	3名以内	3名以内	2チーム以内
女子	4名以内	3名以内	4名以内	3名以内	3名以内	3名以内	2チーム以内

- 10 競技規則 (1) 2020年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、学童である年齢段階を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。
(2) スパイクシューズは使用してもよいが、800mは不可とする。
(3) 素足での競技は禁止する。
(4) 短距離のスタートは、クラウチング・スタートを原則とするが、スタンディング・スタートも認める。
(5) リレー競技におけるバトンパス（テークオーバー・ゾーン）は30mとする。
(6) 80mハードルの高さは60cmで8台、スタートから第1ハードルまでは13m、ハードル間は7mとする。
(7) トラック競技は全てタイム決勝とする。走幅跳の試技回数は3回までとしトップ8は行わない。
(8) 各チームは、チーム名を明記したアスリートビブスを胸背部に必ず付けること。
※チーム名が明記してあるユニホームであっても、アスリートビブスは胸背部に必ず付ける。
※但し、800mについては胸部のアスリートビブスのみ主催者で準備する。
- 11 表彰 (1) 男女総合優勝チームへ優勝旗、8位までのチームに賞状を授与する。
各種目において1位8点、2位7点、3位6点、以下1点おきに8位1点とする。
なお、同点の場合は上位入賞が多いチームを上位とする。
(2) 各種目とも上位8位まで表彰する。
- 12 参加料 (1) 1名あたり200円（リレーと合わせて2種目出場しても200円）
(2) 当日会場で申込人数分を徴収する。
(3) 棄権しても返却はしない。
- 13 参加申込 (1) 別紙申込用紙により令和2年9月25日（金）必着のこと。
※プログラム(大会冊子)作成までの期間が短いため、締切日厳守をお願いします。
(2) 申込先 〒739-2501 東広島市黒瀬町小多田257番地
板城西小学校内 下田健一郎 宛 TEL 0823-82-2149
(3) 申し込み時には必ず氏名にふりがなを（登録しているものは登録番号も）記入すること。

14 その他

(1) 競技中の傷害について、主催者は応急処置のみとし、以後の責任は負わない。
本部においてスポーツ傷害保険に加入するが、各チームでも加入すること。

(2) アスリートビブス

〇〇クラブ

〇〇小

15～20cm

*アスリートビブスは団体名(チーム名)
を記入すること。

20～25cm

20～25cm

- (3) 個人情報のうち、選手名・学年・所属・記録などについて公開する。大会の様子の写真等を陸協HPや広報誌等に掲載することがある。その旨を了承の上参加申し込みを行うこと。
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに沿って「体調管理チェックシート」作成・参加承諾書の提出をすること(別紙参照)。
- (5) 大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (6) 大会当日、午前7時の時点で開催市に「大雨警報・洪水警報・暴風警報」のうち、1つでも発表されている場合や、大会前日午後5時以降開始時まで開催市に「震度5弱以上」の地震が発生した場合には、大会を中止する。
- (7) ウィルス性の感染症等や上記(6)に示す悪天候を含む、競技会の運営及び安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生、または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、試技回数等を含む競技会の内容を変更することがある。
- (8) 今回の大会については、競技会場内への参加団体の応援用横断幕等は掲出できないので注意すること。